



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

重要なニュースをすぐ知りたいときも、じっくり深く考えたいときも

朝日新聞デジタル トップページを大幅リニューアル

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)は、2020年9月28日(月)、ニュースサービス「朝日新聞デジタル」(<https://www.asahi.com/>)のトップページをリニューアルしました。

読者の皆様のニーズを踏まえ、4つの利用シーンに対応するレイアウトをご用意。ニュースをすぐ知りたいときにも、深く知りたいときにも、より役立つページになりました。

◆1. 社会的に重要なニュースが手早くわかる

社会的に重要性の高い記事を厳選したトップニュースを大きく表示することで、新聞の一面を眺めたときのように、いま重要な記事を直感的に把握できるようになりました。

トップニュースのそばには、ニュースが簡単にわかる解説や有識者の意見など、おすすめの関連記事を配置。ニュースのあらましや背景を、よりよく理解できるようになりました。



朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

◆2. 速報ニュースを常にキャッチする

365日・24時間配信している「速報ニュース」エリアをページ右肩に新設。トップページを開くと、すぐに目に入るようになりました。最新の情報をいつでも素早く把握することができます。

◆3. 深く多面的に社会問題を考える

いま社会が向き合うべき重要な課題について深掘りした記事や、短期集中連載を紹介するコーナーを新設。通常の記事に加えて、切り口とビジュアルにこだわり、新たな報道のかたちを目指すスペシャルコンテンツ「プレミアムA」も掲載していきます。

さらに、有識者や朝日新聞記者の論説を掲載する「オピニオン」コーナーを、ページ上部に設置しました。オピニオンコーナーには、政治からエンタメまで、各分野の専門家による独自の論考を掲載する朝日新聞社の言論サイト「論座」(<https://webronza.asahi.com/>)の記事も掲載します。

そのほか、国内外を網羅する取材網を駆使した動画のコーナーもご用意。

新たな視点や専門家の意見との接点として、日々のニュースについて一歩踏み込んで読み解くきっかけになることを目指します。

◆4. 人生を豊かにする文章を楽しむ

「患者を生きる」や「人生の贈りもの」、「きょうも傍聴席にいます。」など、読者からご好評をいただいている連載の、新しく更新された記事を集めたコーナーをご用意。

今を生きる人々のライフストーリーを垣間見る、ライフスタイルマガジン「朝日新聞デジタル『&』(アンド)」など、暮らしを豊かにする情報が豊富なのも朝日新聞デジタルの魅力の一つ。新たなトップページでは、『&』のコンテンツも読み物コーナーのひとつとしてお楽しみいただけます。
